

東京土建一般労働組合
東京都新宿区北新宿1-8-16
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
ホームページ
http://www.tokyo-doken.or.jp/

定価 五十円
(年間購読料 千八百円)
購読料は組合費のなかに含まれています



印刷部数 106,600部 発行人・編集人 吉川 豊

産業対策活動の前進にむけて
企業交渉団会議(10月5日)より、一人親方問題、特定技能と実習の違い、女性のための現場改善などをまとめた。八重洲で起きた鉄骨崩落の重大事故のレポートも。
(関連記事4・5面)

最終版の達成チカラに秋の拡大大運動の成功も

三鷹武蔵野 実増に見合う加入 追及 3.5%達成、対話もはずむ



訪問行動で対話し交流を深めた連雀分会のみなさん、支部書記局(右前列より、麻生嶋さん、吉川さん)

仲間をふやす秋の月間も最終版。期間を決めた取り組みながら、その成否は年末の「実増」の行方も左右します。10月22日の時点で3.5%目標に達したのは三鷹武蔵野支部をはじめ8支部となりました。

三鷹武蔵野支部は新川中原、深大寺、吉祥寺分会が牽引するなかで10月15日この秋の支部基準目標、3.5%を達成しました。多くの外国人労働者が加入したことが一つの特徴です。その半数以上は社員化によるもので土建国保、厚生年金のセット加入。

100万署名 チャンス生かして 持続可能な建設業の実現を



佐藤さん

【本部副委員長・佐藤豊】 高齡化が進む建設従事者の深月間最後まで「実増に見合う加入を追及しよう」と20日

施工・解体業者募集

新宿支部で新会館を建設

この度、新宿支部会館の建て替えにあたり、施工業者を募集します。昨年末に行った新会館設計アサインコンペの結果、設計契約を6月に結び、現在、基本設計の最終調整に入っています。11月に業者説明会、12月に入札見積書ご提出、2024年1月〜

2023年11月1日時点で東京土建の組合員であること。※組合費の未納・滞納がないこと。 ①過去10年以内に同規模(鉄骨造4階建)建物の施工実績があること。 ②事務所用途の施工実績があること。

2月に業者選定・契約、5月に仮事務所へ移転・アスベスト除去及び解体工事、8月に建設工事着工、2025年4月竣工を、予定しています。

③解体・アスベスト除去は建設業許可、建設施工は特定建設業許可業者であること。 ④入札業者説明会 新宿支部会館(ZOOM併用) 2023年11月20日(月) 19時 解体・アスベスト除去

「募集要項」・「応募用紙」は新宿支部のHPからダウンロードできます。 応募対象

担当：角谷・秋山 03・3362・2161



新宿支部HPは上記QRより

100万人署名 国会請願 **東京土建** 一人2筆、必ず署名を **質上げ・週休2日 実現のチャンス**

このチャンスを見逃すわけにはいきません。全建総連で100万、東京土建は約20万組織数の倍が目標です。衆議院50万、参議院50万で100万とし、一人2筆書けるものです。家族を含めて取り組みをひろげ、ぜひ成功させましょう。(関連記事8面)

間4回目となるコーナンPR Oでの宣伝を実施しました。そして19時から分会での組合員訪問となりました。高田實分会組織部長を中心とした連雀分会のメンバーは三鷹市役所に集まり、分会役員の麻生嶋初枝さんが電話でアポをとると、また会えなかった吉川順子さん(設備工)宅へ。「ごほんにはふりかけ、建設業には東京土建」とのメッセージを込めた支部グッズのふりかけなどを手渡ししました。仕事は忙しくないと

朝やけ ヒットラーを含む3人の「アドルフ」を主人公にした手塚治虫の漫画がある。神戸に住むパン屋でユタヤ人のアドルフ、そしてドイツと日本のハーフでナチスの高官となるアドルフ。神戸では無二の親友だった二人だが、成長し、第二次世界大戦が進むなかでその関係は過酷なものに変わっていく。

刻な状況の改善、その要因である低賃金・長時間労働をなくしCCUSを推進するため、11月より「持続可能な建設業の実現に向けた100万人国会請願署名」に取り組みます。ぜひご協力下さい。若者がこの業界から離れ、技術継承が大きな課題となっています。建設従事者の減少は社会資本の維持管理、災害復旧などを滞らせ、国民生活に重大な支障をきたします。そんな危機感の中、国交省は

「残忍な中尉」と呼ばれるように。立場が逆転するなかで、互いの肉親を殺し合った二人は最後、銃を手に相まみえる。 繰り返される人間の歴史と暴力を描くなかで、正義とは何か、人間とは何か、がストレートに問われている。確かに負は連鎖する、しやすだろう。しかし、その逆もまた然りだ。人間、優しくされれば、やはり優しくなるものだ。

パレスチナで新たな戦争が勃発している。大変緊迫した情勢だ。混迷を深める世界に無関係ではられない。危機をおおる中で大軍拡が肯定されれば、苦しむ暮らしを強いられた寛容さを失うだろう。そこから先は負のスパイラルだ。希望を捨てずに、人間の争いをなくす道を探りたい。